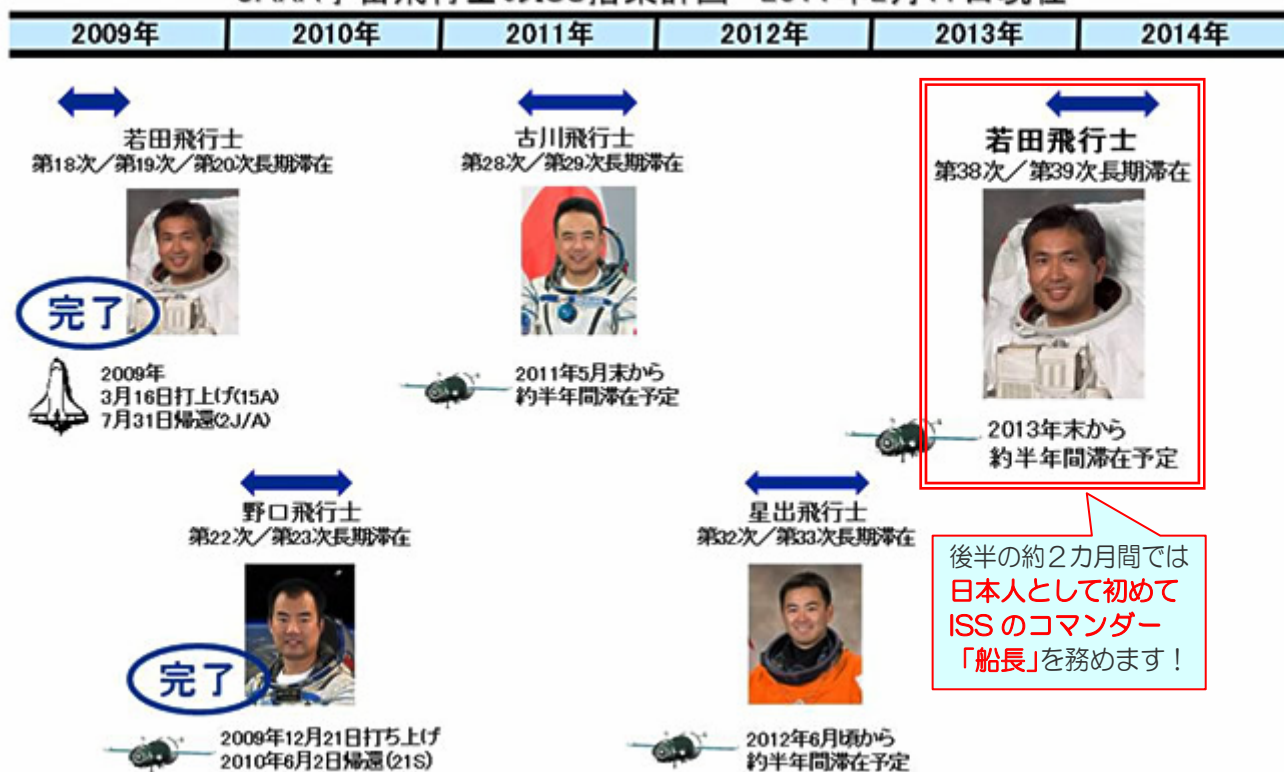


若田宇宙飛行士が日本人初の国際宇宙ステーション「船長」に

JAXA宇宙飛行士のISS搭乗計画 2011年2月17日現在



若田光一宇宙飛行士が、国際宇宙ステーション (ISS) の第38次/第39次長期滞在搭乗員に決定しました。

若田宇宙飛行士は、2013(平成25)年末頃にソユーズ宇宙船でISSへ行き、約6ヶ月間長期滞在する予定です。

第38次長期滞在(約4ヶ月間)では、フライトエンジニアとしてISSの運用、宇宙環境を利用した科学実験、「きぼう」日本実験棟を含むISS各施設のシステム運用を実施する予定で、第39次長期滞在(約2ヶ月間)では上記任務に加え、日本人初のISSコマンダー(船長)として長期滞在の指揮をとります。

※ISSコマンダーの出身国としては、ロシア、アメリカ、ベルギーに次いで日本が4カ国目となります。

搭乗決定にあたっての抱負

この度、第38次長期滞在フライトエンジニアそして第39次長期滞在コマンダーとしての国際宇宙ステーション (ISS) 搭乗が決まり、その任務の重大さを噛み締めています。

<中 略>

これまでの訓練や宇宙飛行経験、さらにJAXAそしてNASAにおけるマネジメント業務を通して学ばせて戴いた知見を充分に生かし、ISS全体の利用の成果を最大限に出していけるよう全力で宇宙飛行の準備と訓練に取り組んで参りたいと思います。

搭乗決定に関してご尽力戴いた関係者の方々、そして、これまで応援して下さいた多くの皆様に心から感謝申し上げます。

JAXA宇宙飛行士 若田 光一

JAXA宇宙飛行士の最新情報は、下記ウェブサイトで随時公開中です！

宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

<http://iss.jaxa.jp/index.html>